

地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

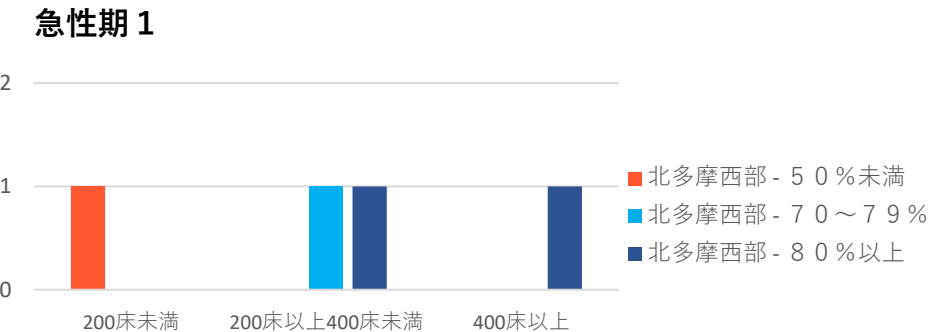
東京都保健医療局医療政策部

事前アンケートの結果（北多摩西部）

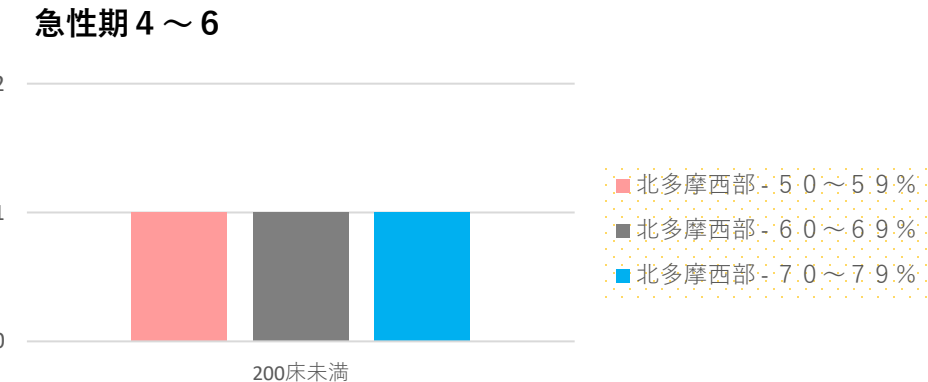
病院としての主な機能別の回答状況	
病院としての主な機能	病院数
高度急性期	3
急性期/サブアキュート	2
回復期/ポストアキュート	0
慢性期	1
ケアミックス（急性期・回復期）	1
ケアミックス（回復期・慢性期）	0
その他	2
計	9

許可病床数別回答病院数	
許可病床数	病院数
200床未満	6
200床以上400床未満	2
400床以上	1
計	9

■ 病床機能別稼働率【許可病床の規模別】

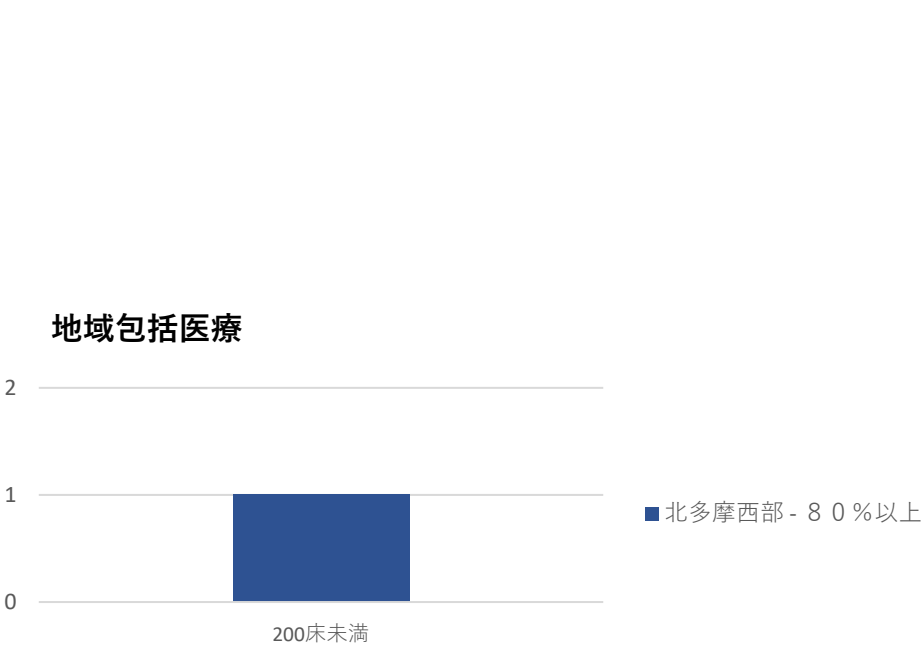


急性期 2・3



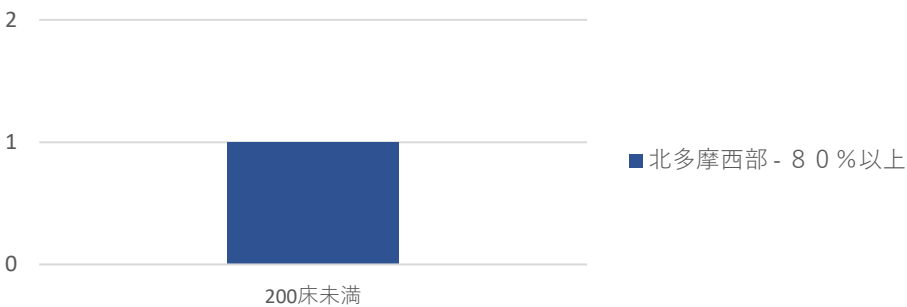
事前アンケートの結果（北多摩西部）

地域一般 1 ～ 3



地域包括医療

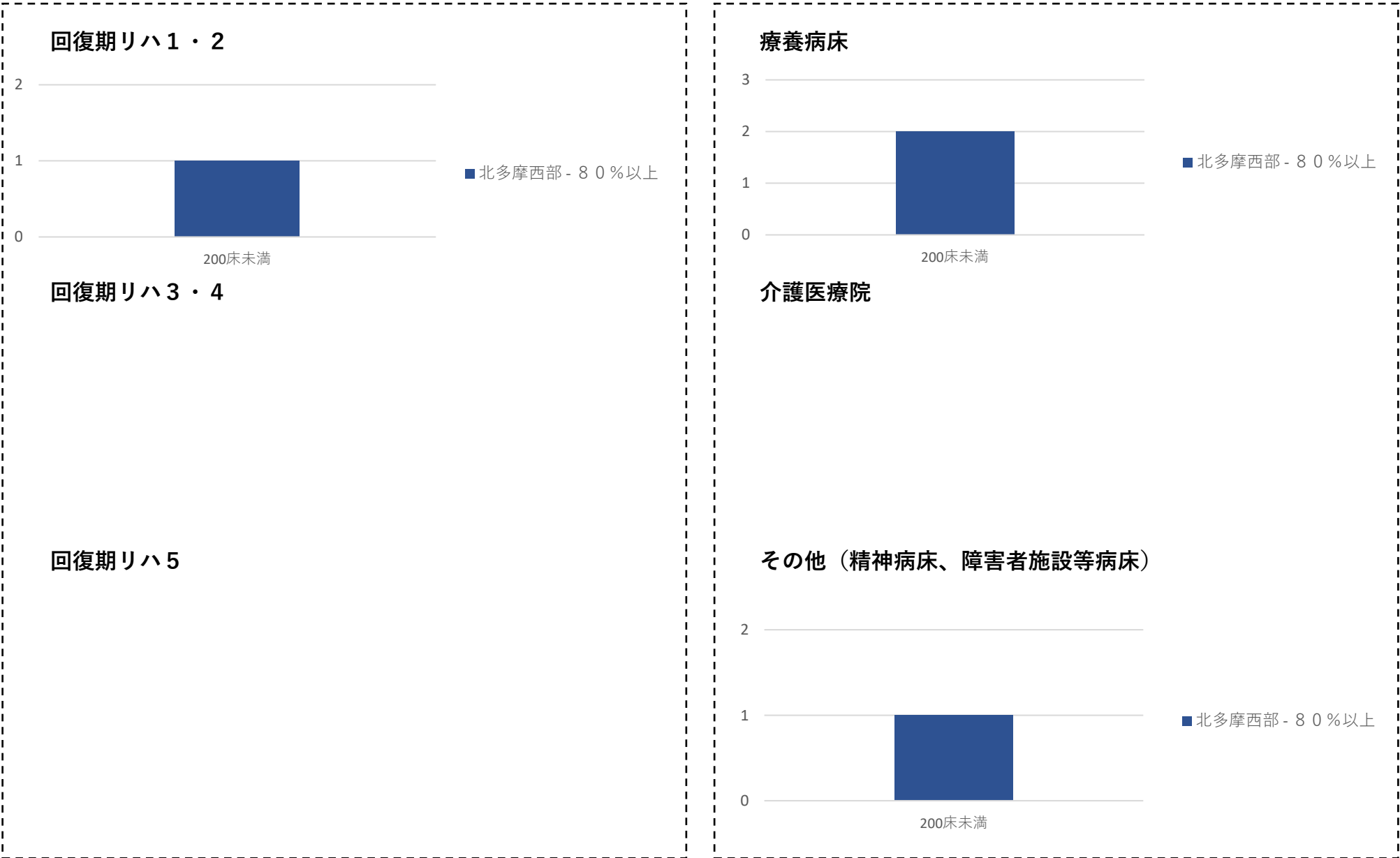
地域包括ケア 1 ・ 2



地域包括ケア 3

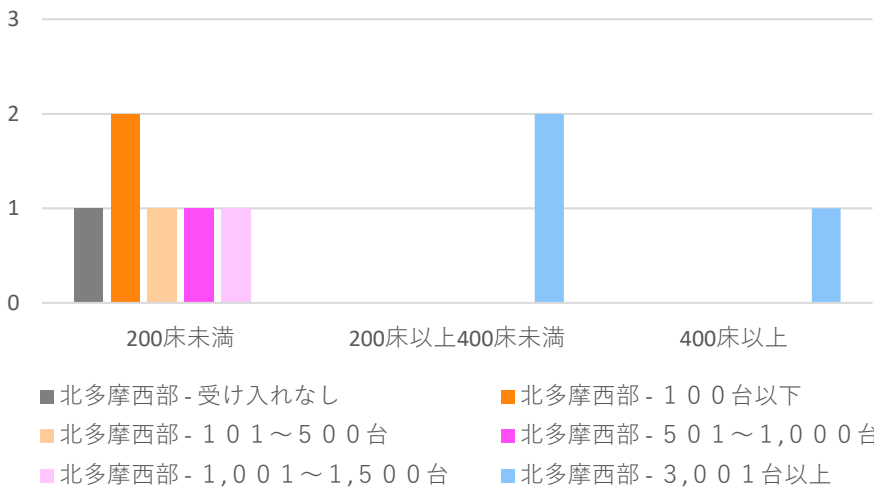
地域包括ケア（療養病床）

事前アンケートの結果（北多摩西部）



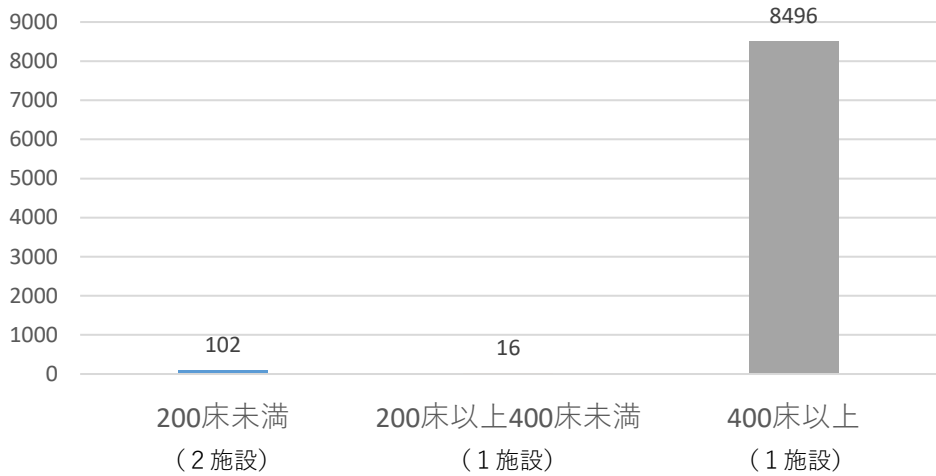
事前アンケートの結果（北多摩西部）

■ 令和5年度救急車受入台数

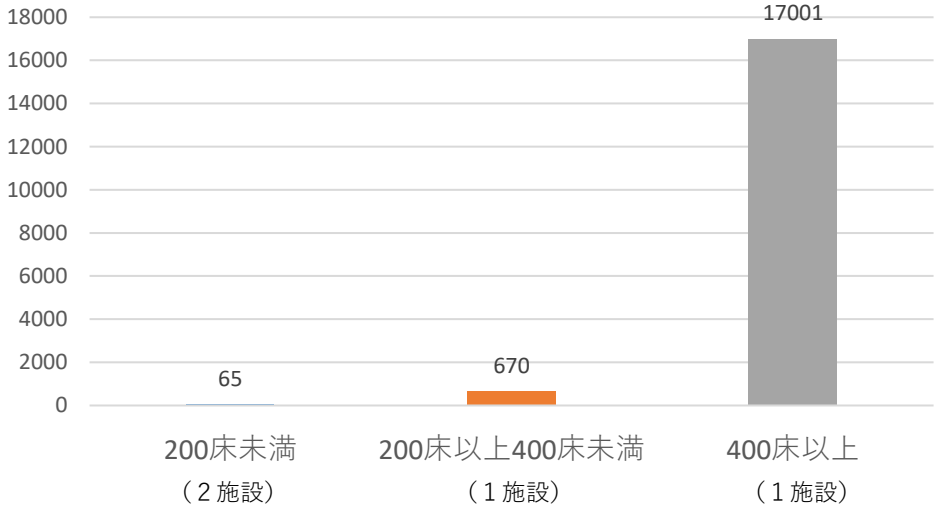


■ 令和5年度地域連携入退院患者数

転院上り（人／年）（合計）



転院下り（人／年）（合計）

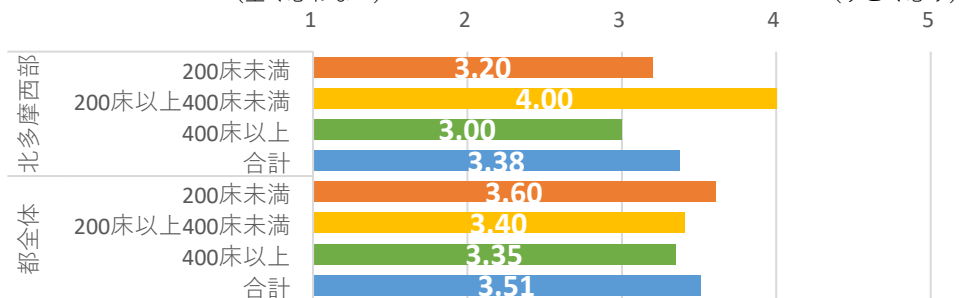


事前アンケートの結果（北多摩西部）

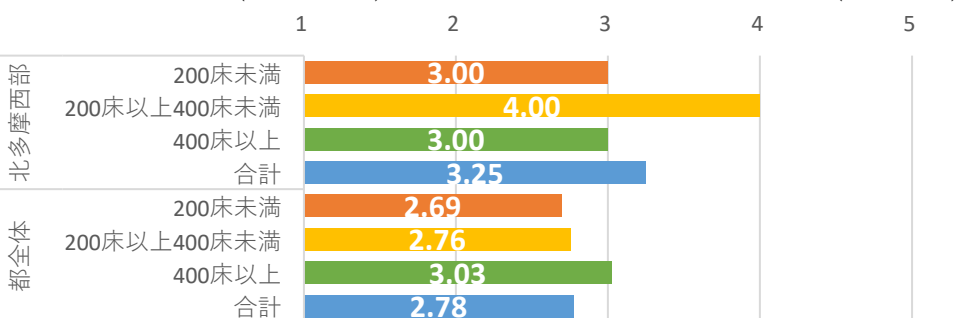
■ 連携等に関する影響について

《緊急搬送・予定転院》

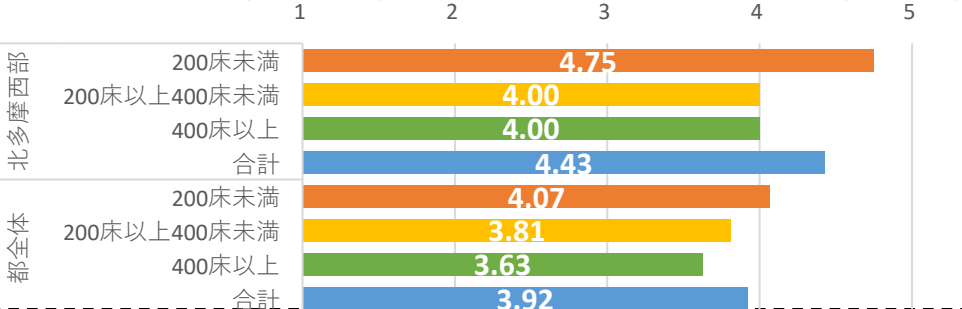
平日・日昼の緊急搬送において、相手先の病院と円滑になされていると思いますか。
(全く思わない) 1 2 3 4 (すごく思う) 5



休日・夜間の緊急搬送は相手先の病院と円滑になされていると思いますか。
(全く思わない) 1 2 3 4 (すごく思う) 5

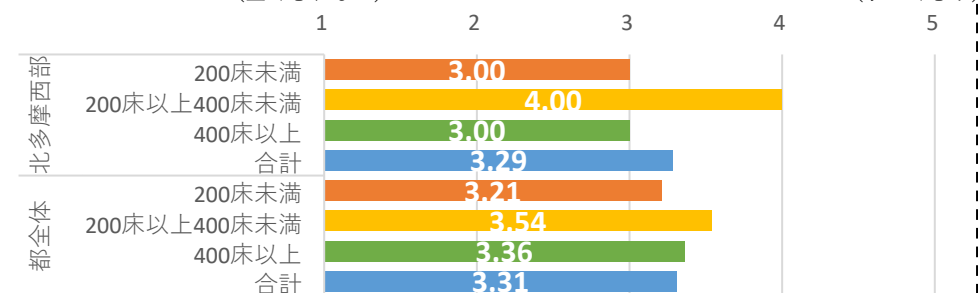


予定転院において、相手先の病院と円滑になされていると思いますか。
(全く思わない) 1 2 3 4 (すごく思う) 5

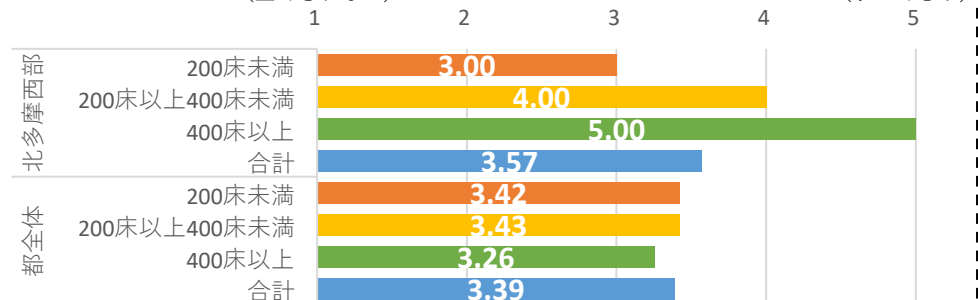


《受入側としての要望》

早期の転院を（迅速に）受け入れするに当たり、診療科を絞れば受け入れは可能と思いますか。
(全く思わない) 1 2 3 4 (すごく思う) 5



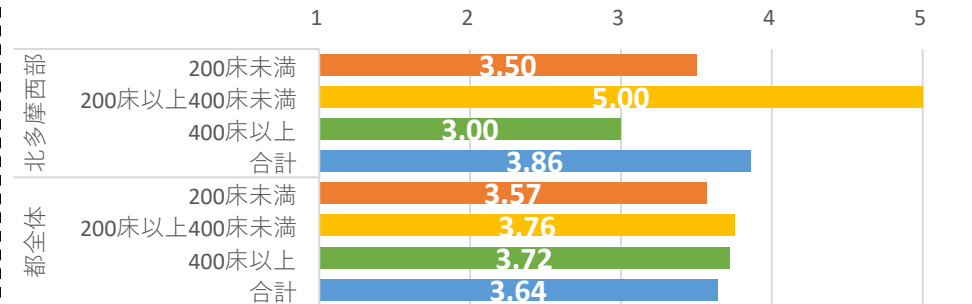
早期の転院を（迅速に）受け入れするに当たり、患者の重症度を限定すれば受け入れは可能と思いますか。
(全く思わない) 1 2 3 4 (すごく思う) 5



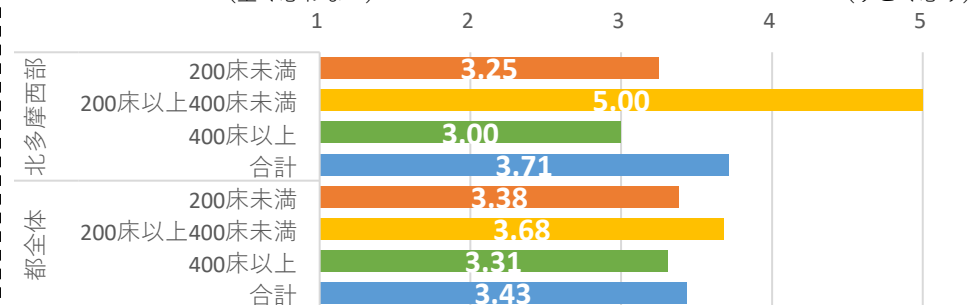
事前アンケートの結果（北多摩西部）

《自院の課題》

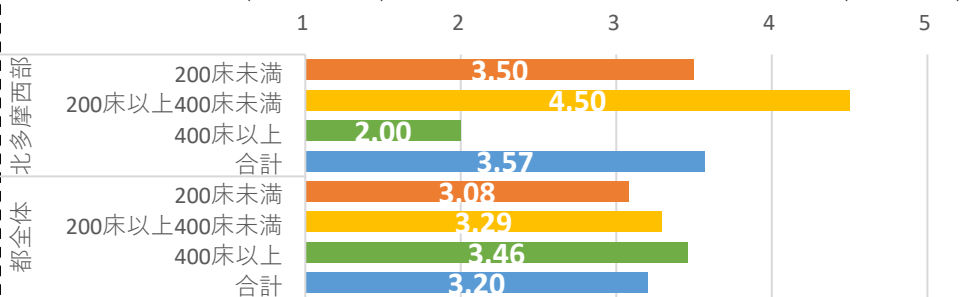
自院の医師が潤沢であれば、積極的に受け入れすることが可能だと思いますか。
(全く思わない) (すごく思う)



自院の医師以外の職員が潤沢であれば、積極的に受け入れすることが可能だと思いますか。
(全く思わない) (すごく思う)

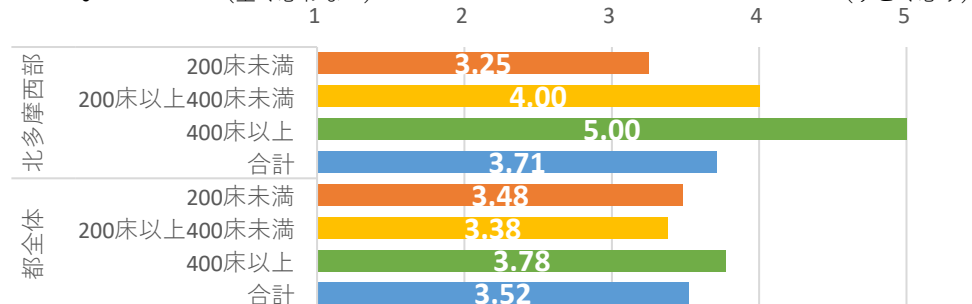


自院のベッドコントロールが改善されれば、積極的に受け入れすることが可能だと思いますか。
(全く思わない) (すごく思う)

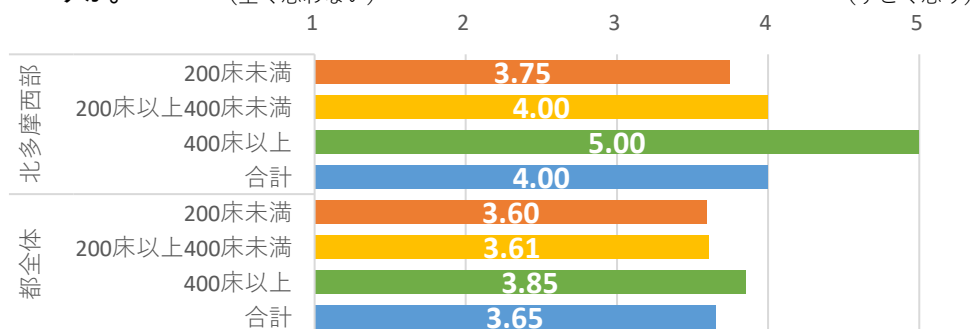


《患者側の課題》

患者側の理解さえ早く得られれば、早期に転院させることが可能だと思いますか。
(全く思わない) (すごく思う)



患者家族の理解さえ早く得られれば、早期に転院させることが可能だと思いますか。
(全く思わない) (すごく思う)

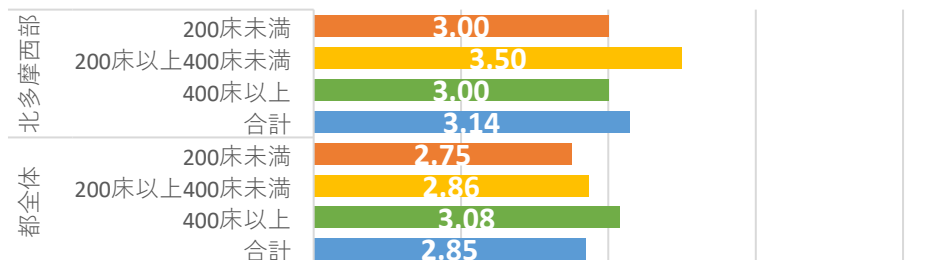


事前アンケートの結果（北多摩西部）

《下り転院の問題（主に急性期病院が回答）》

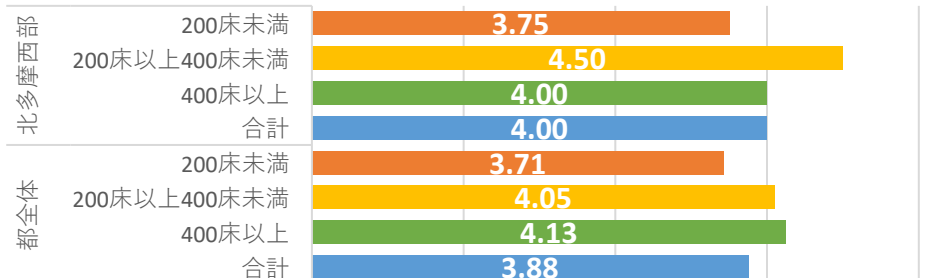
過去に病状が落ち着いたことで転院した患者が、悪化等で再び自院に戻ることがありますか。

(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5



過去に様々な病気を抱えた（複雑な）患者を転院させるにあたり、転院先がなかなか決まらないことがありましたか。

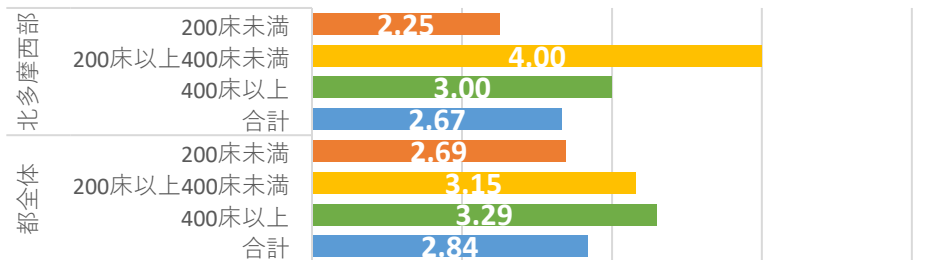
(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5



《下り転院の問題（主に回復期・慢性期病院が回答）》

過去に病状が落ち着いたことで転院された患者が、悪化等で再び前医に再入院されたことがありますか。

(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5



過去に急性期病院から様々な病気を抱えた（複雑な）患者の転院依頼があった際に、お断りしたことはありますか。

(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5

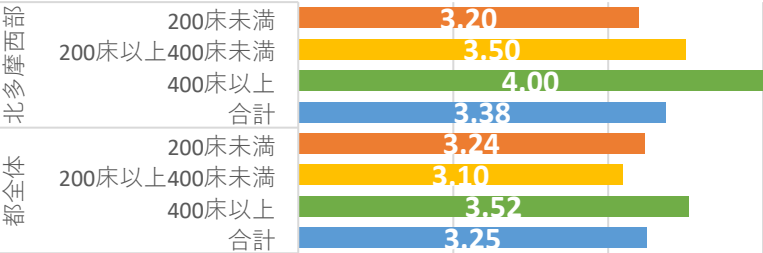


事前アンケートの結果（北多摩西部）

《連携の進捗度》

平成28年の地域医療構想策定当初と比べて、全体的に地域での連携が進んだと思いますか。

(全く思わない) 1 2 3 4 5 (すごく思う)



■ 連携等に関する影響への対応

自院や地域として対応している取組

- ・ わんコネ導入
- ・ 転院ではなく、地域の在宅にスムーズに戻すため、地域の方々（地域包括・行政・居宅事業所・訪看等）との連携会議を月1回開催、様々な問題を一緒に考え、共有する取り組みを行っている。
- ・ 後方支援の地域の病院様へ医師・MSW/看護師で訪問し、双方の状況を理解し連携がスムーズになるようにしている。
- ・ 以前より、地域連携パスの取り組みで地域のお施設で定期的に協議会を開催している。
- ・ 地域医療支援病院を2024年4月より取得
- ・ 北多摩西部地域医療連携協議会等で地域の急性期病院、回復期、維持期、慢性期病院等と定期的に情報交換を行い連携を深め、緊急受診の受入・転院等が円滑に行えるよう取り組んでいる。

事前アンケートの主な意見（北多摩西部）

自院や地域として対応していくべき取組の考えやイメージ

■ 地域連携の推進についての意見

- ・病院の地域医療構想はある程度構築されたと思う。議題に出ているとは思いますが、今後は医療・介護の複合ニーズを抱える世代の増加や若い世代の減少に伴う医療需要の変化に対応できるよう、病院だけでなく、開業医のかかりつけ医機能や在宅医療、医療・介護連携等を含め、体制を整える（見直す）必要があると思う。
- ・地域によって開業医における専門医の数が異なるため、均一化していく必要もあるのではないかな。
- ・病院完結型医療から地域完結型医療への転換は不十分ではないだろうか。当然の地域住民（患者）は地域内で完結すべきだが、実際のところは地域内での受入先がなく、他の医療圏へ転送・転院している事案が一定数あり地域内で完結するにはどのようにしなければならないのか、一地域では問題の解決には至らないため、行政も含め検討していく事案ではないだろうか。